

低頻度健診受診者の減少を狙う「PFS活用型被扶養者受診率向上事業」の標準モデル構築

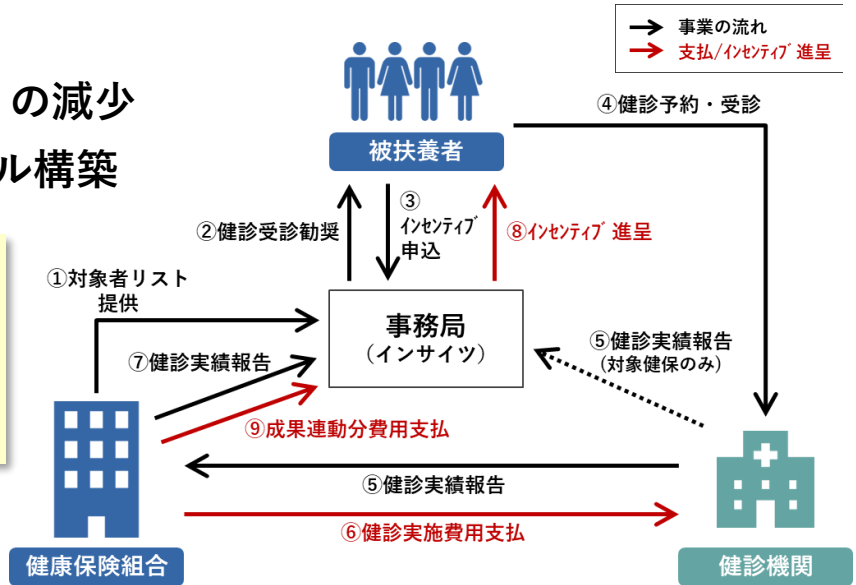
<令和5年度中間報告>

サンデン健康保険組合

📋 本事業の目的

- ① 健診受診頻度の低い被扶養者（＝低頻度受診者）の減少
- ② PFSを活用した健診受診率向上事業の標準モデル構築

本事業は、健診受診者が「**ほぼ毎年健診を受診する方（継続受診者）**」と「**健診受診頻度が数年に1回、またはそれ以下の方（低頻度受診者）**」に二極化することに着目し、**ナッジ理論の活用による健診受診勧奨**を行います。

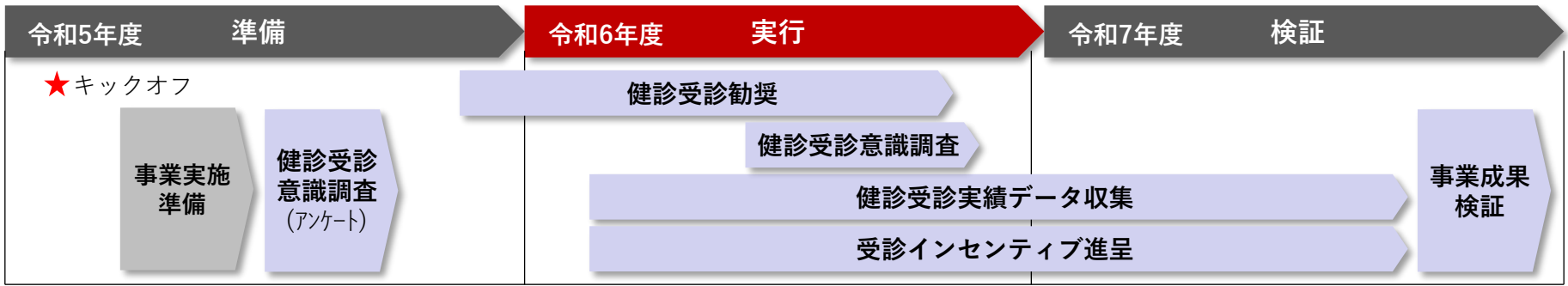


📋 本事業の成果評価方法

総費用 = 1健保あたり基本料 + 成果連動報酬① (健診受診意識調査回答) + 成果連動報酬② (健診受診インセンティブ申込数) + 成果連動報酬③ (特定健診受診数)

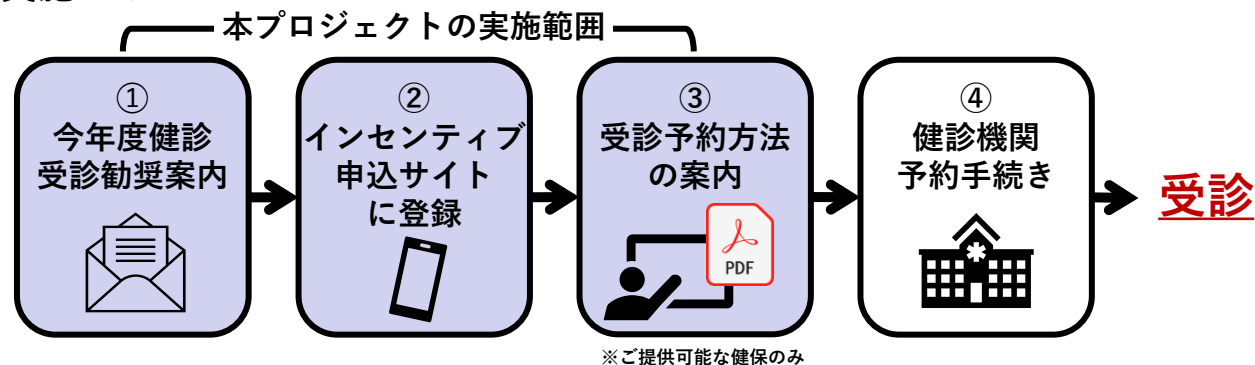
Legend: 基礎分 (Basic) is represented by an orange box, and 成果連動分 (Performance-linked) is represented by a blue box.

📋 事業スケジュール ➡ 令和6年度の被扶養者健診受診率向上及び成果検証のための3ヶ年計画



令和6年度（実行フェーズ）の取り組み①「健診受診勧奨」

■実施スキーム



■受診勧奨時期の種類…各健保の意向・予算を踏まえて決定
⇒実績評価時に告知方法等と併せて成果を検証予定



時期	期待効果	採用健保※
① 健診実施期間開始直前	予告効果	1
② // 開始直後	リマインド効果	2
③ // 終了間近	駆け込み需要	2

※複数の時期を採用している健保あり

令和6年度（実行フェーズ）の取り組み②「健診受診意識調査」

- 前年度実施した意識調査（Webアンケート）とほぼ同内容で実施し、回答の変化を確認
- 併せて、未回答者に未回答理由を追加調査（右表）

未回答理由	構成比
告知ハガキを受領していない（気づかなかった）	45%
告知ハガキ受領はしたものの忙しかったので実施せず	36%
その他	18%

令和7年度（検証フェーズ）の主な予定

- ✓ 健診受診実績の確認
- ✓ 事業成果検証